

議会報告会の開催結果

- 1 会場及び参加者数 5会場 138人（各地区別は開催概要参照）
- 2 参加議員数 各会場6～7人（各地区別は開催概要参照）
- 3 報告会次第及び報告内容等（開催時間は全地区1時間30分）
 - (1) 開会（議長または副議長）
 - (2) 報告（50分程度）

第一部 議会報告会開催の意味と議会審議の仕組み

はじめに、「開かれた議会を目指して～なぜ、議会報告会を開催したか？」と題して議会基本条例制定までの経緯と議会基本条例の特徴として、

ア 市民に対する情報発信と説明責任を果たすことを義務化、また市民と情報及び意見を交換する場を多様に設けることを義務化＝これらを進めるための一つとして議会報告会を開催すること

イ 二元代表制を明記したこと

ウ 一般質問に一問一答方式を導入＝論点が明確になること

の3点について説明

次に、「市議会での審議の仕組み」として、議会の設置・権限・会派・定例会と臨時会・本会議と委員会・過去1年間の議案審議状況・同議会開催状況・議会の流れ・請願陳情の手続きについて説明

第二部 9月定例会の報告

はじめに、一般質問・質疑の内容に関し、今定例会では、ほとんどの議員が「防災対策」「原子力発電所事故の影響」「自然エネルギー」の3点をとりあげていること、そして具体的な質問項目9件を、3点以外の質問項目として7件を報告

次に、各常任委員会・石炭対策特別委員会の審議内容について報告、報告項目については、各委員長が選定し、委員全員が確認しているものとしており、

総務文教常任委員会では、

ア 市の学力向上に向けた取組み

イ 学校耐震化事業

ウ 防災

エ 除雪体制 の 4 項目

経済建設常任委員会では、

ア 愛国浄水場の更新

イ 国際バルク戦略港湾の取組みに関する育成プログラムの概要報告

ウ M O O フィットネスセンター の 3 項目

民生福祉常任委員会では、

ア 医療情報ネットワーク事業・地域周産期母子医療センター整備事業

イ 市立阿寒病院の今後のあり方

ウ 東日本大震災に伴う被災地の災害廃棄物の受入れ処理 の 3 項目

石炭対策特別委員会では、

ア 産炭国石炭高度化事業 の 1 項目

を報告

次に、9月定例会の審議結果に関し、賛否状況を含め議案・意見書・請願陳情の順に報告

(3) 質疑応答 (30 分程度)

各地区での質疑応答及び要望等の内容については、開催概要を参照

(4) 閉会 (議長または副議長)

4 アンケート調査を実施 (回答内容は集計結果を参照)